

なぜ今、産学連携が重要視されるのか？

**1970年の大阪万博のテーマは
「人類の進歩と調和」**



それから50年、人々の暮らしは豊かになったのか？

エネルギー革命

情報革命

グローバリズム

新自由主義

情報技術の進展による
社会の超スマート化

生命科学の進展による
生物の改造

しかし、

**GDPは伸びず、国家財政は悪化し、低金利が続き、
給与は上がらず、格差は拡大している**

**インフラは老朽化し、大型の地震や津波、
台風などの自然災害が頻発している**

**幼児死亡率は減少し、平均寿命は延びたが、
非感染性の生活習慣病が増え、医療費が跳ね上がる**

**イノベーションは起きず、日本企業の
国際的競争力が落ち、研究力の低下が著しい**

何を間違えたのか？

何が悪かったのか？

**日本の産業界がリニアモデルに固執し、
大学との連携が遅れた**

**日本の大学が基礎研究と論文生産ばかりに
明け暮れ、産学連携に消極的だった**

**日本政府がバイドール法やSBIRなどベンチャーを
支援する政策を立てるのが大幅に遅れた**

イノベーションが起きなくなっている！

いやいや、

**日本の弱みを自覚して
改善するだけでなく**

日本の強みを探そう

**科学技術基本法の改正
人文科学の追加＋イノベーションの創出**

ムーンショット型研究開発事業

- 目標1 : 身体、脳、空間、時間の制約からの解放
(複数のアバター)
- 目標2 : 疾患の超早期予測・予防
- 目標3 : 自ら学習・行動し人と共生するロボット
- 目標4 : 地球環境再生に向けた持続可能な資源循環
- 目標5 : 未利用の生物機能等のフル活用により、
持続的な食料供給産業
- 目標6 : 誤り耐性型汎用量子コンピュータ
- 目標7 : 予防医療により100歳まで健康不安なく人生を
楽しむためのサステイナブルな医療・介護システム

ウェルビーイングの視点

これまでに解決

- ・飢餓
- ・病気
- ・戦争

これからの期待

- ・神の手
- ・不死の身体
- ・幸福

ユヴァル・ノア・ハラリ

柴田裕之 訳



ホモ・デウス

テクノロジーとサピエンスの未来

生物はただのアルゴリズムであり、
コンピューターがあなたのすべてを把握する。
生物工学と情報工学の発達によって、
資本主義や民主主義、自由主義は崩壊していく。

山極壽一
(京都大学総長)
佐々木俊尚
(作家・ジャーナリスト)
推薦！

人類はどこへ 向かうのか？

河出書房新社

下

新型コロナウイルス感染症はハラリの予測を覆した



あっといふ間にパンデミック
収束しない
有効な治療薬がない
ワクチンができない

微生物とウイルスの存在

地球は微生物の惑星

野生動物には多くのウイルスの
遺伝子が組み込まれている

人間の活動や気候変動による生態系の破壊



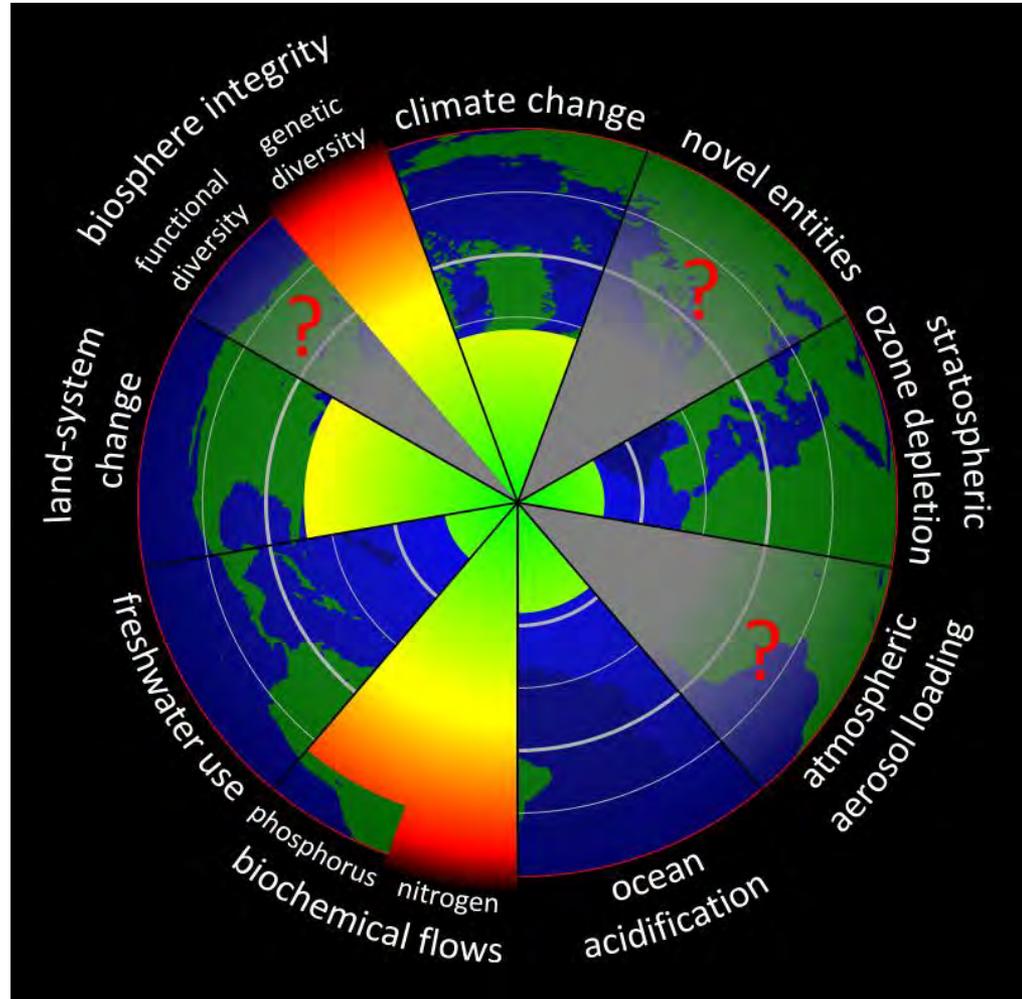
未知のウイルスが野生動物を介して家畜や人間に感染

世界の哺乳類の量 人間と家畜が9割以上

ヒト	77億
ウシ	15億
ヒツジ	12億
ヤギ	10億
ブタ	10億
ニワトリ	500億

ゾウ	62万
チンパンジー	30万
ゴリラ	20万
ペンギン	3,000万

フラネタリーバウンダリー 3つの指標が限界値を超えた



新型コロナウイルスは現代社会の 特徴に乗じて パンデミックを起こした

人々が密集して大集団をつくる
人や物がグローバルな動きを強める

密集・密閉・密接

コロナの教訓

制約を受ける社会行為

- 自由な移動
- 対面での会話
- 食事の団らん
- 共同保育
- 対面授業
- 芸術活動
- スポーツ
- コンサート

気がついたこと

- 人間の暮らしに必要なこと
- 非労働行為(子育て、家事、介護)の重要性
- サービス産業の価値
- オンラインで可能なこと
- お金の回り方
- 地方と都市の価値
- 豊かさとは何か

自己肯定感、自己実現感、社会とのつながりが失われやすい

**生きる意味をもう一度
見直して**



**産学連携がどんな価値を
創造できるか考える**

未来からの問い

日本学術会議100年を構想する



未来からの問い

日本学術会議100年を構想する

